

科目名 Course Name	保育者論 Childcare Theory			ナンバリング No.	K2-004		
年次	1年	期別	後期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	久保田 隆範						
連絡方法	C-ラーニングで対応。または講義棟 2 階研究室。オフィスアワーは授業担当時間以外。						
必修/選択	選択(保育士養成課程は必修)						
関連 DP	DP1、DP2、DP5						
授業の概要と到達目標	<p>保育者の仕事と役割、保育者になるための学び、保育士の制度的な位置づけ、保育者の職務と生活等を題材にして、あるべき保育者像について学び、考えていく。</p> <p>① 保育者の仕事と職務を正しく認識できるようにする。</p> <p>② 保育と指導技術についての基礎・基本的な知識・技術を習得できるようにする。</p> <p>③ 子育て支援の社会的意味・意義についての認識を正しく持つようにする。</p> <p>④ これからの保育者に期待される幅広い知識・教養・技術・技能、コミュニケーション能力、実践研究能力、組織的活動能力の基礎を習得できるようにする。</p>						
授業の方法	基本的には、パワーポイントを中心とした講義形式で行うが、「調べる・考える学習」を重視した授業展開として、発表やディスカッションも取り入れる。その中で、保育者の在り方を多角的に捉えられるようにしていきたい。						
学習成果	L01						
	L02	倫理観に裏付けられた専門的知識、技術をもって、子どもの保育並びに 保護者に対する保育に関する指導の在り方を提案することができる。					
	L03	子育て支援政策の現状と課題並びに地域社会の子育てをめぐる諸課題について正しい認識を持ち、その課題の解決にあたる姿勢を身につける。更に、保育者としての専門性並びに専門職的成長に期待される保育者像につなげることができる。					
	L04						
課題に対するフィードバック	発表に対するコメントは、その場で教員、及び聴講学友から与えられる。 各課題に関しては、授業内に各自にフィードバックする。						
教科書/参考図書	教科書:①保育者論 (アクティベート保育学 2)(萌文書林)、②平成 29 年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 原本(チャイルド本社)						
履修上の留意点やルール等	保育者を目指す者として、目的意識・課題意識を明確にして授業に臨むこと。従って、私語・居眠り・授業に無関係の行動・不参加は「授業参加態度」において減点の対象とする。私語を慎み、真剣に受講すること。事前・事後学習時間の目安は各回 180 分相当とする。						
担当教員の実務経験	●実務経験(職種:プレリーダー・研修講師 職歴:6 年) あそびを通しての総合的な指導の説明の際に国内外の事例紹介や指導法の教授を行う。						

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	授業を集中して聞き、質問に対して積極的に答える。必要なことはきちんとノートに取る。		20		
レポート/作品	評価Sは、詳細に課題を探究し、内容構成もしっかりしており、課題の要件を十分に満たしている。		30		
発表					
小テスト					
試験	評価Sは、設問に対する要求を満たし内容構成もきちんとしており、更に、授業内容及び資料等に 書かれている範囲を超え、自己の考え方も示されている。			50	
その他					
合計			50	50	

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス、授業の概要、進め方等の説明 レポートのテーマ及び提出期限等の説明
	事前・事後学習	事後学習として、シラバスの読み込みと授業内容をまとめる。
2	授業内容	保育者になるということ 育てられる人から育てる人へ
	事前・事後学習	自身が目指す保育者像について考えまとめる。事後にも再度考え、まとめる。
3	授業内容	保育者の仕事と役割(各法令から考える)
	事前・事後学習	保育者の役割について、自身の考えをまとめる。事後は授業内容を踏まえて、自身の考察をまとめる。
4	授業内容	保育者に求められる資質と能力(保育者に求められる幅広い資質・現代の保育者に期待される役割・学生時代に学ぶこと)
	事前・事後学習	保育者に求められる資質や能力について、自身の考えをまとめる。事後は授業内容を踏まえて、自身の考察をまとめる。
5	授業内容	保育者として働く(職場での学び・学び続ける保育者)
	事前・事後学習	保育者を対象とした研修制度や各地で行われている研修事例について調べてまとめる。事後は授業内容を踏まえて、自身の考察をまとめる。
6	授業内容	保育現場における様々な業務と職員間の連携について
	事前・事後学習	保育現場における、保育以外の業務について調べてまとめる。事後は授業内容を踏まえて、自身の考察をまとめる。
7	授業内容	特別な配慮を必要とする子ども達とこれからの保育について ①各保育実践から考える
	事前・事後学習	各園が行っている保育実践上の工夫や取組みについて調べてまとめる。
8	授業内容	特別な配慮を必要とする子ども達とこれからの保育について ②映像資料から考える
	事前・事後学習	インクルーシブ保育について事前に調べてまとめる。事後は映像資料をもとに、自身の考察をまとめる。
9	授業内容	異文化・多様性理解教育(保育)の必要性 ①映像資料から考える
	事前・事後学習	自身の身近にある多様性について考え、まとめる。事後は映像資料をもとに、自身の考察をまとめる。
10	授業内容	異文化・多様性理解教育(保育)の必要性 ②これからの保育者に期待されるもの
	事前・事後学習	多様性理解の為に保育現場の中で、でき得る実践や支援方法について考えまとめる。事後は授業内容を踏まえて、自身の考察をまとめる。
11	授業内容	保護者との連携・協働について
	事前・事後学習	実習を振り返り、保育者と保護者との関わりの場面について整理する。事後は授業内容で行うワークの振り返りを行う。
12	授業内容	保育者の倫理/保育者の権利と研修/生涯の仕事としての保育者
	事前・事後学習	「倫理」「権利」の言葉の定義について調べてまとめる。事後は授業内容を踏まえて、自身の考察をまとめる。
13	授業内容	保育者の専門性の発達について
	事前・事後学習	保育者の専門性について調べてまとめる。事後は授業内容を踏まえて、自身の考察をまとめる。
14	授業内容	時代が求める保育と保育者について
	事前・事後学習	society 5.0 について調べてまとめる。事後は授業内容を踏まえて、自身の考察をまとめる。
15	授業内容	あそびを通しての総合的な指導 保育者の関わり方
	事前・事後学習	あそびを通しての総合的な指導とは何かについて調べてまとめる。事後は授業内容を踏まえて、自身の考察をまとめる。